



平成 30 年 11 月 8 日

各 位

会社名 株式会社プレミアムウォーターホールディングス
 代表者名 代表取締役社長 萩尾 陽平
 (コード番号: 2588 東証第二部)
 問合せ先 経営管理本部 財務経理部
 (TEL 03-6864-0980)

平成 31 年 3 月期第 2 四半期累計期間業績予想値と実績値の差異
 及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 30 年 5 月 10 日に公表した平成 31 年 3 月期第 2 四半期累計期間(平成 30 年 4 月 1 日～平成 30 年 9 月 30 日)の連結業績予想値と本日公表の実績値において差異が生じたので、お知らせいたします。併せて、平成 31 年 3 月期(平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日)の通期の業績予想について、下記のとおり修正しましたのでお知らせいたします。

1. 平成 31 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間の業績予想と実績の差異 (平成 30 年 4 月 1 日～平成 30 年 9 月 30 日)

	連結 売上高	連結 営業利益	連結 経常利益	親会社株主 に帰属する 四半期純利益	1 株当たり 四半期 純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	15,000	△200	△200	△200	△ 7.41
実績値 (B)	18,176	396	269	114	3.20
増減額 (B-A)	3,176	596	469	314	
増減率 (%)	21.2	—	—	—	
(ご参考)前期第 2 四半期実績 (平成 30 年 3 月期第 2 四半期)	12,769	△813	△970	△983	△36.93

2. 平成 31 年 3 月期連結業績予想数値の修正 (平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日)

	連結 売上高	連結 営業利益	連結 経常利益	親会社株主 に帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	32,000	10	10	10	0.37
今回修正予想 (B)	38,000	400	120	200	7.37
増減額 (B-A)	6,000	390	110	190	
増減率 (%)	18.8	—	—	—	
(ご参考)前期連結実績 (平成 30 年 3 月期)	27,716	△1,179	△1,559	△1,493	△56.80

3. 差異が生じた理由及び修正の理由

(1) 差異が生じた理由

第2四半期連結累計期間において、引き続き新規顧客の獲得は順調に推移しており、宅配水の出荷数量の増加により売上高は前回発表予想を上回りました。

収益基盤の強化に向けた営業活動による販売促進費等の増加及び物流コストの増加がありましたが、度重なる折衝により配送業者による値上げが地域別・段階的に適用されたことから、第2四半期累計期間に見込まれていた物流コストの増加額が当初の予想を下回ったためであったため、売上高の増加に伴う売上総利益の増加により、販売費及び一般管理費の増加を大幅に上回る増収を確保できた結果、営業利益につきましては、前回発表予想を上回る396百万円の黒字に転換いたしました。

また、この増益を受けて、経常利益は269百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は114百万円となりました。

(2) 通期業績予想の修正の理由

平成31年3月期通期の連結業績予想につきましては、第2四半期累計期間の実績値を踏まえ、売上高は当初予想を大幅に上回るものと見込んでおります。

他方、当初第2四半期累計期間内に見込んだ物流コストの増加は下期へずれ込む見込みとなりますが、積み上げてきた収益基盤から得られる売上高の増加により、物流コスト等の販売費及び一般管理費の増加を吸収いたします。従いまして、平成31年3月期通期においては第2四半期連結累計期間の増収・増益を維持して営業利益は400百万円となることを見込んでおります。

また、経常利益については120百万円となる一方、今期の業績見通しなどを勘案し、当初の予想を上回る繰延税金資産の追加計上による法人税等調整額（益）の増加により、親会社株主に帰属する当期純利益は200百万円を見込んでおります。

※ 上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以 上